

誓いの言葉

日本原燃株式会社 社長 兒島伊佐美 殿

本日品質保証大会の開催は、サクル事業確立という大きな使命の達成のため、我々協力会社も含め日本原燃の皆さんと同じ目的、同じ使命を共有する者が、ともにスクラムを組み品質保証活動の徹底、日本原燃との連携の重要性を改めて認識する場があると考えております。

再処理工場のウラン試験が開始されてから三ヶ月を経て、試験が着実に進んでいることは我々にとっても緊張感を持ちながらも充実した思いであります。

また、今年が、アタチが試験を目指しての、大きな正念場であることは協力会社社員一人ひとりが良く認識しており、その期待に身の引き締まる思いであります。先日の品質保証マネジメント会議の席で、兒島社長より、この大きな使命を達成するために、我々協力会社をリアルパートナーとして、日本原燃と同じ志の旗の下で、と呼びかけていただいたことは、我々にとってなによりもの大きな励みであります。兒島社長の呼びかけに応えるためにも、日本原燃と我々協力会社の双方向コミュニケーションを、もう半歩、もう一歩、踏み込み連携を密にしていくことが重要と考えております。

このもう半歩、もう一歩をつめることは努力のいることですが、我々協力会社としては品質保証活動を徹底し、リアルパートナーとしての期待に応えるため、下記項目を遵守する事を誓います。

一、我々はこのプロジェクトが日本原燃のみならず我々のプロジェクトでもあるとの認識に立ち、今後は現場第一主義との理念のもと、現場作業の安全と品質確保の徹底を実践するため、常に緊張感を持ち、保安規定、作業手順を遵守いたします。

一、我々はこのプロジェクトを成功させるため、これまでも増して改めるべきは改め、確認すべきは確認し、意見を言うべきところは言わせていただきます。我々にも設備を運転していることの喜び、感激を共有することといたします。

一、我々は、万が一トラブルが発生した場合には、速やかに日本原燃の皆さんと一体となって対応することにも、不適合情報の共有化と水平展開を着実に、品質保証の継続的な改善を実践いたします。

平成十七年 四月五日

品質保証大会 協力会社代表

住友金属鉱山株式会社

再処理工施設建設本部 六ヶ所建設所長 越智克範